

## 第1回幼稚園再編に係る地域協議会(なばた幼稚園) 会議録

日 時:令和3年1月28日(木)15時から

場 所:なばた幼稚園リズム室

参加者:森本座長、開発委員、白石委員、吉長委員、森委員、桐生委員、鈴木委員、  
城山委員、福井委員、井上委員、井村委員、中森園長

事務局:中田教育長、松田課長、生水(会議録作成者)

傍聴者:6名

### <開会>

教育長挨拶

#### 次第1 出席者紹介

事務局説明(別紙資料1のとおり)

座長挨拶

#### 次第2 地域協議会の設置について

事務局説明(別紙資料2のとおり)

座長 ただいまの説明について、何か質問等あるか。

事務局 補足説明として、資料で「とりまとめる」という表現をしているが、意見をひとつにしばる・ひとつにまとめるという意味合いではない。資料3のように意見を整理してほしい。

#### 次第3 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」(=以下「原案」とする。)に対するこれまでの意見と課題整理について

事務局説明(別紙資料3のとおり)

事務局 資料3への事務局の回答については議事要旨を確認してほしい。

座長 地域協議会では「原案」に対する地域の意見をまとめてほしい。何か事務局から補足説明はあるか。

事務局 反対意見には必ず理由があるはずだが、それは「原案」P6の3、(1)～(5)に当てはめて整理していけば、まとめやすくなると思う。

座長 「原案」の内容を理解することが重要。何か意見等はあるか。

委員 子どもの数が減っていると思うが、幼稚園の状態で統合・再編を考えているのか。こども園化を考えているのか。前提を教えてください。

事務局 「原案」では統合とこども園化というのが示されている。現在は待機児童が発生しており、その保育ニーズに応えるためにもこども園化が必要ではないかと考えている。

事務局 「原案」は統合とこども園化だが、これは教育委員会の考え方を示したものであり、あり方検討委員会の答申を踏まえ、教育委員会が一定のたたき台を示したものが「原案」であり、それを前提に議論をしてほしい。

委員 こども園化と統合は、「原案」では同時進行ということか。なばた幼稚園をこども園化すれば園児数は戻るはず。学校や幼稚園は地域のよりどころであり、他市の園に通うということは市として恥ずかしいこと。駐車場や調理室の問題も周辺の土地を活用すれば解決すると思うし、まずはここでこども園化できる努力をすべき。また、教育関係者としては少人数教育についても推薦したい。このまま噂が先行すれば入園をためらう方もいると考える。

座長 今のような意見を集めて、課題について協議していくのが協議会の意義であると思う。他に意見等あるか。

委員 菜畑の意見はすでに集めている。「原案」P6、3の「配慮します」「柔軟に対応します」といった表現の部分については、次回の評議会でも方向性を決めるのか。納得できる対応策を提出したあとで、財政的な問題などで対応できないといわれても困る。

#### 次第4 各関係者からの意見聴取について

事務局 まず1点目として、皆様所属の団体から意見を集める方法と、時期について協議してほしい。意見を集めるにあたり、人数が多い会で個々に「原案」について説明し、意見をまとめてまわるのは難しいと思う。そこで提案だが、事務局で作成した概

要版を各所属の団体で回覧や配布等し、それで意見をまとめてはどうか。概要版には教育委員会の考え方や、市民説明会や地域協議会での意見を整理したものを記載するので、これを踏まえたアンケート形式にすれば答えやすいのではないかと思う。地域や近所で意見をきいてもらってもかまわない。月見町の自治会長には事務局より連絡をとる。時期については、第2回の協議会で情報共有したいと思っているので、いつまでに集めるかということを決めてほしい。2点目は、この協議会に参加していない団体、例えば未就園児のいる家庭などからどのように意見を集めるか。他にも思いつくような団体があれば教えてほしい。

委員 資料の児童数の推移を合計するとわかるように年々児童数は減っている。今後の児童数を前提にして考えていく必要があり、小学校や私立との統合も考えていかななくてはならないと思う。人口は減っているのでここで統合してもまた同じような問題がでてくる。昔は子どもが増える前提で建物を増やしたが、いかに見通しが甘いかということ。保育園がたくさんできたのに、なぜ待機児童はいるのか。「原案」2の表に総園児数を示してほしい。

委員 いろんな意見を聞いたところで結局は財政事情ありきなのではないか。統合前提としか思えない。

事務局 教育委員会としては丁寧に進めていきたいというスタンス。行政は優先順位をつけなくてはならないが、聞いた意見は無駄にはならない。当事者の意見を聞くことがメインだが、子どもの成長には地域の助力も必要。つまりは協創していきたい、力をお借りしたいので、時間かかるがこのような方式をとっている。

座長 育友会についてはもう保護者の意見が集約されているとのことだが、「原案」に基づいたものか。または、基づくと変わるか。

委員 変わらと思う。

委員 HPで「原案」を見て、意見してくれている方もいる。

座長 新たにアンケートとなれば、事務局で用意してもらえるのか。

事務局 用意できるが、すでに集まっている分は協議会で共有したい。

委員 民生児童委員は月1回の定例会で意見は集められる。30人くらいいるが、高

齢の方が多い。これから実際に園を利用する方の意見を優先するべきではないか。

座長 集め方についてはどのようにお考えか。

委員 資料があればそれを前提に。ざっくりと言えば、「なばた幼稚園を廃園にして壱分幼稚園と統合します。そこはこども園化します。それについてのご意見どうですか。」という聞き方になるかなと。「原案」について細かく意見を聞いても、やはり予算ありきでもう決まっているのだろうとなり、何の意見も出てこないということになりかねない。今考えていることについて 1 枚に端的にまとめたものがあれば、意見は集められると思う。

座長 事務局でそのような資料は作成できるか。

事務局 2月の2週目くらいまでには用意したい。

委員 次回2月15日の民生の会議で配布したいと思っている。

座長 学校評議員はどうか。

委員 未就学児を市で把握していないのか。しているならば郵送などで市が意見を集めてはどうか。

事務局 生駒台で「こんにちは赤ちゃん事業」という赤ちゃんが生まれた家庭に市の職員が訪問する事業を利用する案がでた。現在は市の内部でも個人情報のやり取りには課題があるが、働きかけてみる。また、俵口や生駒台の地域協議会で、未就園児の集いで資料を配布して意見を聞くという案もでている。

園長 2月24日に今年度最終の未就園児の集いがある。来年度就園予定の方が対象で、自由参加なので全員が来るわけではないが。

委員 来年入園予定の方はどのくらいおられるのか。

園長 年少14人、年中1人。

事務局 自治会への意見聴取については、事務局から東生駒月見町の自治会長へ依頼をする。

(教育長退席)

座長 では育友会と民生児童委員は、事務局からのアンケートで意見を集める。自治会からの意見聴取については、事務局から自治会長にいったん相談する。あとは学校評議員の方や地域の方、スクールボランティアの方々も、機会があれば意見を集めるということで。期限については、3月中旬くらいまでと考えるが。

事務局 3月中ごろまでであれば、集まった意見を事務局に教えてもらえたら、会議資料として事務局でまとめる。間に合わなければ第2回の協議会当日に紹介してもらってもよい。あと皆様に確認したいが、その他の団体から連絡があった場合は事務局で意見聴取してもよいか。その内容については協議会で必ず共有する。

座長 よろしいか。では次第5について。

#### 次第5 今後のスケジュールについて

事務局説明(別紙資料4のとおり)

事務局 南幼稚園での視察については、こども園を実際に見てもらってメリット・デメリットを感じてもらえたらと考えている。ただ、コロナ禍ということもあるので、もし園への視察が難しいということになれば、また資料を提示する。

事務局 第4回協議会の意見書(案)について、事務局で案を作成してもいいし、協議会でまとめてもらってもよい。あくまで予定だが、夏秋くらいに意見書ができればなと思う。

委員 将来的なことだが、駐車場や車の進行方向についての議論は十数年前から地域の会議で何度も出ては消えている。そこを議論するにあたり、自治会を巻きこむことは考えていないのか。この前面道路の一方通行をなくそうという計画は、地域住民の納得が得られず頓挫した。教育面もだが、地域住民のことも考慮する必要がある。同時進行で考えていかななくてはならない。

事務局 そこは把握していなかった。自治連合会長にも相談してみる。

事務局 次回の日程を調整していただきたい。

園長 19日に卒園式がある。

委員 4月をまたぐと育友会は会長がかわってしまう。

(日程調整)

事務局 それでは次回の会議は3月26日金曜日に決定とする。

<閉会>